

つるまき

グリーンメゾン鶴牧3 高齢化対応委員会



「環の会通信」特別号再刊 4号

2月13日夜の地震体験談特集

2月13日の深夜の地震覚えておいでですか。このところ大きな地震がなくちょっと安心していたところで驚かされました。今回の環の会通信特別号はグリーンメゾン鶴牧3の皆さんが、あの地震の時どんなだったか体験談を特集してみました。246戸のうちのほんのわずかなお宅の体験談ですが、お読みいただくといろいろなことに気づかされます。中層棟と高層棟の感じ方の違いや1階と11階の危機感の違い、とっさの行動の違いなどです。特に「ドアを開ける」とか「無事ですマグネット」をドアの外に出すといった災害時の基本的な行動については「身についていないなあ」と思われる方も多いのではないのでしょうか。体験談をお読みいただき、もしもの時に備えていただければと思います。

早春の花々 3 ～グリーンメゾン鶴牧の自然～



黒侘助 (1号棟西側)



フキノトウ (北法面、東法面)



クリスマスローズ (2号棟前庭)

黒侘助(クロワビスケ)の花は強風のためか花卉が痛んでいます。膨らんだ蕾を切って花瓶に挿しておくときれいに咲きますよ。フキノトウは今が見頃です。この冬のクリスマスローズは例年より少なくなっているように感じます。元々の呼び名「クリスマスローズ」は「ヘレボルス・ニゲル」のことで「イギリスのクリスマス」に開花します。日本で多く出回っているヘレボルス・オリエンタリスなどは1～3月に咲きますが「クリスマスローズ」と呼んでいます。

地震の時我が家では

1号棟 吉岡さん



トイレに腰かけているとゆらりゆらりとした感じが次第に大きくなった。これまで感じた地震では一番大きい。トイレは壁が多くここが一番安全だと思う。リビングの妻はどうしているか。防災連絡網をどうするか考えていた。揺れが収まると H さんから電話が入る。防災連絡網をどうするかである。「みんなを起こすのも大変だから様子をみよう」ということになった。本棚の上段から数冊本が落ちていた。壁の額が曲がっていた。不覚にも、玄関ドアを開けるとか「無事ですマグネット」を出そうとかいう災害時にとるべき行動はまったく思いつかなかった。

2号棟 林さん

ベッドでラジオを聞いているとグラグラときました。以前なら玄関のドアを開けに走ったりしたのですが歩きまわって躓いたらいけないとそのままベッドの上に座っていました。3.11 のときは突き上げる感じがありましたが今回は横揺れしか感じられませんでした。それでも私には 3.11 と同じくらいの大きさに感じられました。けっこう長かったので「いいかげんにしろ」と叫んでいました。あのあと奥さんはすぐ寝ましたが、私は1時くらいまで起きていました。

1号棟 高橋さん



テレビを見ながら、そろそろ寝ようかと思い準備中、地震の警戒放送が出たので安全を確認してかまえていた。高層棟なのでいつも揺れが強い。南北に揺れいつもと違うと思っていた。玄関の鍵を開けリビングに居ると**食器戸棚のストッパー**が「カチン」と作動した。「良かったストッパーの機能が働いた」と安心した。キッチンに置いていた花瓶が倒れた。揺れがおさまり、玄関を開けて外に出てみたが異常なし。「**無事ですマグネット**」を出し、そのまま安心して床に就いた。



翌朝 6 時 15 分頃散歩とラジオ体操に行くためエレベーターに乗ろうとしたが、作動しておらず 5 階で止まったままでした。非常階段で下まで降り仲間とラジオ体操に行く。7 時過ぎに帰ってきたが、まだエレベーターが動いていないので、携帯で三菱テクノサービスに電話して状況を説明対応してもらった。非常階段を上がりながら防災担当理事に連絡して 10 階まで 2 回休みながら上がる。上がりながら思ったことは、「水は重くて持って階段上がれないな」もう少し備蓄必要だなど考えた。

1号棟 久保田さん



地震が来たときは、お風呂に入っていました。地震だと思ったので早めに風呂から上がり支度をした。風呂に入っている時の地震は慌てて中々大変でした。

身支度をして玄関のドアを開け「無事ですマグネツト」を出した。

家の中は特に異常がなかった。娘からも心配して連絡が入った。



1号棟 前澤さん

お風呂に入ろうとして準備をしていました。立てかけてあったゴルフのバッグと掃除機が倒れた。他は特に異常はなかった。

お風呂に入って気が付くと風呂のお湯が、風呂場の床に流れ出していた。揺れて流れ出したのだと思った。

翌朝ベランダに置いてあった植木鉢が倒れ割れていた。高層棟はいつも揺れが強いので、今回の出来事で改めてそれぞれを確認して対応が必要と考えた。



1号棟 長内さん



夫が仕事で帰りが遅いため子供たちも私も起きていました。「地震だよ!!」と子供が教えてくれました。大きく揺れたので怖かったです。3.11 の時は家じゅうがめっちゃめっちゃになりしばらく靴を履いて暮らしました。あれほどではありませんでしたが今回もガスがとまりました。あとはお布団をかぶって寝ました。

1号棟 河南さん

おやおや、ちょっと長いぞ!? 部屋の書棚の揺れの様子を見ながら長いと感じ、リビングに出ると妻が居ない。玄関のドアが開いている。外に飛び出したのか? 危険はないのか? 地震速報は? ふと見ると・・・妻がダイニングテーブルの下にもぐっていて、ニッと笑った。20秒ほどの出来事でした。



5号棟 小林さん

寝ていました。戸棚などがガタガタするので目が覚めました。でも戸棚やタンスには**突っ張り棒**をしているので安心だなと思い寝たまま揺れが収まるのを待ちました。ちょうど娘がとまりに來ていたので声をかけてくれました。

6号棟 梶山さん

ガッと揺れたのでびっくりして目が覚めました。ベッド脇の大きな窓のカーテンを開け窓も開けました。ここから飛び出して外に逃げることができるからです。驚いたのは向こうに見えるマンションのガラス戸の灯りがほとんど全部こうこうとついていたことです。私の家の中は何も異常はありませんでした。

7号棟 井野さん

阪神淡路大震災は大阪で体験しました。分譲の二階で、朝方ゴーと音がしていましたが、特に物が落ちるような事はありませんでした。その後テレビでその惨状を知ることになりました。**東北大震災**では集会所前で2号棟のアンテナが左右に90度以上振れるのを見て大変な事になる(2号棟が倒れる?)と思いました。

今回は緊急地震速報を聞いてから、それなりの揺れ方を感じたのでどうなることかと思いましたが、何事もなく無事にすみしました。これまで幸いなことに一度も食器等の破損は経験していません。これも一階を選んだ(?)効用かもしれません。

8号棟 橋本さん

夜、下の子供がなかなか寝ないのでトイレに行こうとしたところ、ギシギシと揺れ始め、どんどん大きくなりました。上の子も部屋から出てきて、「ママ、ドア開けておいたほうがいいんじゃない?」と。ひとまず倒れる家具のない寝室に移動し、収まるのを待ちました。何か落ちるなどはありませんでした。そういえば、**持ち出し袋**の中身に、マスク等コロナ対策の品物を追加しなければ...と思いました。



7号棟 垂井さん

夫婦二人とも珍しくぐっすり寝込んでいました。強い揺れで目が覚め、落下物の心配がない居間に移りました。「着替えないと」、「そんな必要はないよ」の会話のあと、少し揺れが収まったのでまた布団に潜り込みました。

その間、防災連絡網のことが、一瞬頭をよぎったのですが、こんな時間にこの程度の揺れではと、その思いは瞬時に消えました。いつもはテレビのスイッチを入れてニュースを見るのですが、「無事ですマグネット」のこととか「防災」対応のことは何も思いつきませんでした。

地震の時の我が家 ～ 2号棟 10階 村辻家の場合 ～



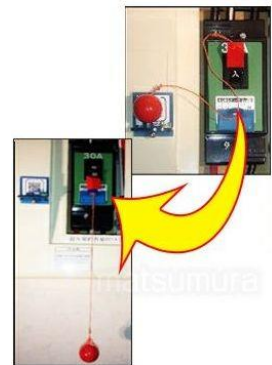
《地震の時どこにいて何をしていたか》

居間で「全豪オープンテニス」の録画を見ていたら揺れ始め、テレビの上に飾っている孫の写真が落ちたので、中学受験中に縁起でも無い! と思ったが志望校には合格していたので気を取り直して次の行動を始めた。

《とっさにどんな行動をとったか》

テレビを生放送に切り替え地震情報を視聴した。電気について問題なし。自宅の**感震ブレーカー**の設定は震度5で異常なしを確認。ガスと給水も点検して異常なし。落下物は他に長女の結婚式のスナップ写真だけだった。なんでやねん(~_~;)

エレベーターがP波感震管制に則る自己診断で停止したのか見に行った。2号棟は3階で停止したまま扉が開かないので真っ暗な籠内を覗いて閉じ込められた人が居ないか確認した。1号棟は5階で停止していたので躊躇したが、万が一のため階段を登って確認した。



感震ブレーカー

《寝るまで何をしていたか》



10階の自宅に帰って心臓を鎮めながら、エレベーター緊急受付に復旧依頼の電話をかけてみた(当団地のエレベーターは24時間リモート監視方式だが念のため)。震災時あるあるで全く繋がらない。他団地との根比べに臨んだものの、30分間のプープー音に誘われて、不覚にも携帯を枕に寝てしまった。

《なんでこんな事をしたか》

私は元施設・防災担当理事で「**災害時対応マニュアル**」の改訂を進めるグループの一員として数日前に、緊急連絡先の校正などに参加していました。早速実践しましたが、エレベーター管理会社への電話は繋がらず、復旧は数時間後になる事が立証されました。

甚大な震災が起きたら、まず自身・家族・近所の方の安否を確認しましょう。住宅管理組合が立ち上げる災害対策本部が命を救うため行動します。ご協力をお願いします。

近隣のスポット紹介 ～ 多摩市立グリーンライブセンター ～



ピラミッド型の温室

ピラミッド型の温室がシンボルの「多摩市立グリーンライブセンター」です。パルテノン多摩（来年3月のリニューアルオープンに向け現在改修中）の東隣りに在り、季節の花が咲く庭と緑いっぱいの温室、それに続くホールでは植物関連の図書も閲覧できます。運営は恵泉女学園大学・多摩市グリーンボランティア連絡会*・多摩市の3者協働で行い、緊急事態宣言が解除されれば庭のウッドデッキやホールで飲食もできます。また、公開講座もあってNHK Eテレの「趣味の園芸・やさいの時間」（毎週日曜午前8時～）に出演中の藤田さん（恵泉女学園教授）の講座も予定されていましたが、コロナ禍で見合わせとなってしまいました。

*当団地花の会会員の方もボランティアされています。

ホール内には常設の「花とみどりの相談」コーナーがあり、火曜日～金曜日の10時～12時、13時～15時に園芸相談ができますよ。直接の訪問でも電話でも受けていただけます。

行ったのは2月25日でお天気は良かったのですが、寒かったです。スタッフの曾田（あいだ）さんとお話を少ししてから庭に出るときれいに飾られた「ひな人形」を見付けました。季節もの(?)一見の価値ありです。

ちょっと話が変わりますが、事務所で最近ブームの「マンホールカード」がもらえます。多摩市のキティちゃんがデザインされたもので、こちらもおすすめですよ。



ひな人形

.....

利用時間：9時30分～17時

休館日：月曜日・第4火曜日（祝日の場合はその翌日）・年末年始

電話番号：042-375-8716

.....



お弁当の持ち込みもOK！



ホームページで見頃の花紹介



東屋風ウッドデッキで休憩